

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪保育福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 大阪水上隣保館

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	総合こども学科	夜・通信	240 時間	160 時間	
	児童福祉科	夜・通信	330 時間	240 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 http://www.o-hosen.ac.jp/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	大阪保育福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 大阪水上隣保館

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	教育水準の向上や活性化を努めるとともに、その社会的責任を果たすべく、自己評価・学校評価の実施並びに結果の今日表を適切かつ円滑に行うための組織。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
公立保育所 所長	2018. 4. 1 ~ 2020. 3. 31	卒業生・企業委員
児童養護施設 施設長	2018. 4. 1 ~ 2020. 3. 31	企業委員
認定こども園 園長	2018. 4. 1 ~ 2020. 3. 31	企業委員
(備考) 任期は2年だが、申し出がない限り自動更新としている。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪保育福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 大阪水上隣保館

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ○作成過程…作成に当たって留意すること 〔 8月〕次年度のカリキュラムを専任教員にて確認、確定する。 〔10月〕確定したカリキュラムに沿って科目担当者を確認、確定する。 〔10月〕教育課程編成委員会①の開催(カリキュラム・シラバスについての検討)。 〔12月〕保育内容系など分野別にシラバス内容の確認、調整を行う。 〔 1月〕科目担当者が次年度のシラバスを作成し、提出。 〔 1月〕学科長が提出されたシラバスを確認、確定。 〔 2月〕教育課程編成委員会②・講師会の開催(シラバスの確認)。 〔 3月〕「シラバス集」を新年度オリエンテーション時に学生へ配布 〔 4月〕ホームページにて公表。	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表 http://www.o-hosen.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・半期科目はそれぞれの学期ごとに、通年科目は後期終了後に評価を行う。 ・科目の評価は、各科目担当者が行う。複数担当者の場合、評価基準・平均点の目安(75点) ・評価方法は科目によって異なり、定期試験(筆記試験もしくはレポート試験)、平常授業態度(小テスト等を含む)、提出物等によってなされる。 ・評価は素点にて行い100点満点で60点以上の者が単位取得できる。 ※科目の性格上、一部可否の判断のみの科目もある。 ・単位取得無資格となる者 学費未納者 定期試験における不正行為が認められた者 最終授業直前までの授業を3分の1欠席し、担当者が評価不能と判断した者 授業態度等(提出物等)により、担当者が評価不能と判断した者 追再試験終了時点で60点(100点満点)に満たなかった者	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績は前期、後期の半年ごとに個人へ配布される。 ・評価は、個人の成績が学生本人に対して、あるいは客観的に、より把握しやすいよう素点表記とする。 ・各科目の評価基準は客観的に分かりやすい方法で行い、シラバスに明記する。評価が提出された後、科目によって極端なばらつきが生じていないか、学科長が確認する。 ・個人の成績の平均点を算出し、学生が自身の位置を把握できるようにする。その公表は担任より個人的に行う。あくまでも今後の学生生活をより充実させる方向に支援する。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 http://www.o-hosen.ac.jp/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○進級判定基準 その学年において必修としての要件のある科目の不足が4科目以内の者(5科目以上不足すると学年再履修となる。)</p> <p>○卒業判定基準 本校は保育士養成指定校である専修学校であるため、各学科各コースとも、保育士資格取得に必要な単位を含む、卒業に必要な最低取得単位数を取得した者</p> <p>○進級・卒業判定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期試験を含む最終授業週が終了し、成績処理が終了した時点で、専任教員による第一次卒業判定会議を開く。この時点で卒業に必要な最低取得単位数を取得した者は卒業(保育士資格取得を含む)が確定する。 ・追再試験実施後、最終の成績処理が終了した時点で第二次卒業判定会議、在校生の進級判定会議を開く。この時点でその年度の卒業生(および卒業学年再履修)が確定し、在校生の進級(および学年再履修)が確定する。 ・成績評価、および卒業、進級判定結果はクラス担任を通して行う。学年再履修が決定した者についてはクラス担任を中心に複数教員、保護者と共に個別懇談を実施し、相談・指導を行う。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 http://www.o-hosen.ac.jp/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪保育福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 大阪水上隣保館

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.osakasuijyorinpokan.com/
収支計算書又は損益計算書	https://www.osakasuijyorinpokan.com/
財産目録	https://www.osakasuijyorinpokan.com/
事業報告書	https://www.osakasuijyorinpokan.com/
監事による監査報告（書）	https://www.osakasuijyorinpokan.com/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	総合こども学科（昼間部）	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	600 単位時間/単位	1320 単位時間/単位	540 単位時間/単位	— 単位時間/単位	60 単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		100人	0人	8人	44人	52人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年間の授業計画については「シラバス集」にまとめ、新年度オリエンテーション時に学生に配布するとともに、ホームページにて公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）
<ul style="list-style-type: none"> ・半期科目はそれぞれの学期ごとに、通年科目は後期終了後に評価を行う。 ・科目の評価は、各科目担当者が行う。複数担当者の場合、評価基準・平均点の目安(75点) ・評価方法は科目によって異なり、定期試験(筆記試験もしくはレポート試験)、平常授業態度(小テスト等を含む)、提出物等によってなされる。 ・評価は素点にて行い100点満点で60点以上の者が単位取得できる。
卒業・進級の認定基準
（概要）
進級判定基準・・・その学年において必修としての要件のある科目の不足が4科目以内の者(5科目以上不足すると学年再履修となる。)
卒業判定基準・・・本校は保育士養成指定校である専修学校であるため、各学科各コ

ースとも、保育士資格取得に必要な単位を含む、卒業に必要な最低取得単位数を取得した者
学修支援等
(概要) クラス担任制とし、週1回のホームルームの時間を置く。 また必要に応じて面談による個別指導を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	6人 (16.2%)	30人 (81.1%)	1人 (2.7%)
(主な就職、業界等) 認定こども園・保育所・児童養護施設・障害者支援施設等。			
(就職指導内容) 就職ガイダンス・就職模試・卒業生講演・個別指導・個別面談等。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
104人	9人	8.65%
(中途退学の主な理由) 進路変更・経済的理由等		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個別指導や三者面談で状況把握。会議で検討の上、適切な対応。 また学費分納制度等の経済的支援。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	児童福祉科（昼間部）	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 2490 単位時間／単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間		660 単位時間／単位	1680 単位時間／単位	810 単位時間／単位	— 単位時間／単位	60 単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		36人	0人	6人	46人	52人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年間の授業計画については「シラバス集」にまとめ、新年度オリエンテーション時に学生に配布するとともに、ホームページにて公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・半期科目はそれぞれの学期ごとに、通年科目は後期終了後に評価を行う。 ・科目の評価は、各科目担当者が行う。複数担当者の場合、評価基準・平均点の目安(75点) ・評価方法は科目によって異なり、定期試験(筆記試験もしくはレポート試験)、平常授業態度(小テスト等を含む)、提出物等によってなされる。 ・評価は素点にて行い100点満点で60点以上の者が単位取得できる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級判定基準・・・その学年において必修としての要件のある科目の不足が4科目以内の者(5科目以上不足すると学年再履修となる。) 卒業判定基準・・・本校は保育士養成指定校である専修学校であるため、各学科各コースとも、保育士資格取得に必要な単位を含む、卒業に必要な最低取得単位数を取得した者
学修支援等
（概要）クラス担任制とし、週1回のホームルームの時間を置く。 また、必要に応じて面談による個別指導を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 児童養護施設・障害者支援施設・認定こども園・保育所等。			

<p>(就職指導内容) 就職ガイダンス・就職模試・卒業生講演・個別指導・個別面談等。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士資格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	6人	10%
<p>(中途退学の主な理由) 進路変更・経済的理由等。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個別指導や三者面談で状況把握。会議で検討の上、適切な対応。 また学費分納制度等の経済的支援。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合こども学科	120,000 円	600,000 円	570,000 円	施設設備費・実習費・教材費
児童福祉科	220,000 円	490,000 円	360,000 円	施設設備費・実習費
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
オープンキャンパス参加者が AO 入試 (前期日程・後期日程) あるいは指定校推薦入試を受験合格した場合、入学金を 2 万円減免する。 AO 入試前期日程合格者のうち成績上位で合格した者 (約 10%かつ入試で 8 割以上の得点で合格) に対し、1 年次後期授業料を 10 万円減免する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.o-hosen.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校の運営 (経営・教育の現状、およびそれらの短・中・長期課題や方針、社会的責務など) について、学校関係者より意見を聴き、これらを踏まえて学校運営の組織的、継続的な改善に取り組むことを基本方針とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公立保育所 所長	2018. 4. 1～2020. 3. 31	卒業生・企業委員
児童養護施設 施設長	2018. 4. 1～2020. 3. 31	企業委員
認定こども園 園長	2018. 4. 1～2020. 3. 31	企業委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.o-hosen.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.o-hosen.ac.jp/
--

